

令和3年度第1回下田地区協議会 会議録（概要）

●会議を開催した日時及び場所

日 時 令和3年5月27日（木） 午後2時～4時18分
場 所 下田公民館 2階 多目的ホール

●出席委員（◎会長、○副会長）

渡辺 定一 小浦方正美 坂井 利彦 ○日下部正典
◎清水 昭 五十嵐愛子 坂井 英樹 西川 亙
近藤 昌志 堀江 ユミ 小浦方文之 横山 梓 （12人）
（欠席委員）
目黒 俊治 西潟 芳博（2人）

●出席者

市長 滝沢 亮
総務部長 笹川 浩志
市民部長 藤井 勲
政策推進課長 米持 克広
地域経営課長 小島 孝也
下田サービスセンター長 長谷川 考基
地域経営課 課長補佐 新田 泰章
政策推進課 政策推進係 係長 中村 拓也
下田サービスセンター 総務グループ長兼総合窓口グループ長 坂井 公洋
政策推進課 政策推進係 主任 吉田 玲子
下田サービスセンター 総務グループ 主任 登山 宏一
政策推進課 政策推進係 主事 織原 勇人

●傍聴者

なし

●報道機関

三条新聞社

●内 容

1 開 会 (午後 2 時開会)

2 委嘱状交付

3 市長挨拶

4 出席者紹介

5 議 事

(1) 会長及び副会長の選出について

会長に清水昭委員、副会長に日下部正典委員を選出

(2) 行政評価に基づく令和 2 年度事後評価について

(米持政策推進課長 説明)

資料No.1-1～No.1-3により行政評価に基づく令和 2 年度事後評価について説明

～質疑～

(清水委員)

下田地区で農業をやりたい人の数は把握しているのか。

(小島地域経営課長)

全ては把握してはいない。

(坂井 (利) 委員)

休耕地利用についての補助制度はあるのか。

(米持政策推進課長)

現在、検討中である。

(小浦方 (文) 委員)

資料No.1-3の2ページ中の成果指標の二重丸の実績値がゼロ事業所となっている。自社開発の新商品を入れるとゼロではないのではないのか。この中に数値として含まれているのかどうか。

価格決定力の確保に向けた取組が経営に貢献した事例はどういったものか。成果指標の中で、起業家等の人材を活用し、市内での事業化に至った実績値 1 件数の業種は何か。起業家等の人材支援のない開業があったと思うが、件数が把握されていれば教えてほしい。支援の有り無し、全体把握が大切ではないかと思ってお聞きした。また、製造業の起業は資金がかかるが施策的なものがあれば、お聞かせ願いたい。

(滝沢市長)

成果指標の二重丸の実績値がゼロ事業所とは、市がバックアップしたものがゼロという意味である。首都圏のベンチャー起業家同士の交流の中でお金を出し合い、新たな起業を始めたものという意味で、起業家等の人材を活用し、市内での事業化に至った件数となったのではと推測される。今後は、製造業全体としての底上げを図っていきたい。また、10 ページにある製造品出荷額合計の約 3,000 億円の実績値を分析対応して随時報告できるようにしたい。

(3) 辺地総合整備計画について

(小島地域経営課長 説明)

資料 No. 2 により辺地総合整備計画について説明

(坂井(利)委員)

7 ページの早水地区の消防団ポンプ置場建築事業は、今年度終了でよいか。

(小島地域経営課長)

今年度に終了予定である。

(坂井(英)委員)

下田地区は過疎債を利用できるが、八十里越開通や観光事業へ活用してはどうか。

(滝沢市長)

2026 年開通予定に向けて要望活動を行っていききたい。観光を盛り上げるに当たり、イベントだけでなく未来に残る形も行いたい。そのため、多くの意見をもらう仕組みを作り、三条市全体で盛り上げていきたい。

(横山委員)

福島県側と開通に向けて観光等において連携してほしい。

(滝沢市長)

只見町と南会津町とズーム会議で意見調整を図っており、企業を含めた連携及び北関東、南東北地方、燕や弥彦、加茂市や田上町とも連携が必要となるため協力していきたい。

(渡辺委員)

人口が減少しているため何か対策はあるのか。例えば、籠場地区を下田に取り込むとか、大胆な対策をお願いしたい。そして、市の婚活事業は打ち切るのか。実績はどうなのか。打ち切ることなく、民間に任せないで市主導で行ってほしい。

(滝沢市長)

籠場地区を下田に持ってくるのは良いアイデアだが、私が持ってくると問題があるのでなかなか難しいところである。大浦地区の島潟、滝谷などは、宅地需要はあるので、行政と民間の役割分担や、福島県側との人口のやりとりがあると思う。宅地開発は田畑が伴うので、協議等が必要になってくると思う。

婚活イベント等については、昨今の流れで結婚以外の考えをお持ちの方やジェンダーの考え等といった自由があるので、民間に任せて、市では行わないこととした。

(小島地域経営課長)

平成 27 年度から婚活イベントの取り組みをしているが、138 組中で結婚の件数は平成 27 年度に 1 組、平成 28 年度に 1 組、令和 3 年 3 月に婚約が 1 組となっている。

(小浦方(文)委員)

観光大使として、三条市出身の俳優の高橋克実さん、プロ野球選手の金子千尋さんをお願い

してはどうか。

(滝沢市長)

三条市としてどのようにピーアールしていくのか。燕市のようにふるさと納税や、三条市の有名人等で知名度を上げていくなどまだまだ伸びしろがあるので、今後しっかりと取り組んでいきたい。

(4) その他

(横山委員)

介護予防のため、駐車場付きでお茶が飲める場所があるとよいと思う。

(坂井(利)委員)

新屋や南五百川集落の田んぼの圃場整備の経費を助成してもらいたい。

(滝沢市長)

お茶が飲める場所はNPOが運営しており市は直接関わっていないが、出来ることについて相談があれば考えていきたい。圃場整備については、今後相談していきたい。

(清水会長)

熊の問題について、対策などはあるか。

(滝沢市長)

予算の兼ね合いの中で進めていきたいし、良いアイデアがあれば御協力をお願いしたい。

(五十嵐委員)

第三中学校のマラソン大会等で荒沢地区の歩道が狭くて危ない箇所があるので、解消をお願いしたいのと、安全への配慮をしてもらいたい。

(滝沢市長)

国道 289 号線の歩道なので新潟県の管轄になる。今、工事している箇所もあるが、情報を共有して対応していきたい。

(堀江委員)

合併してから、市の職員に挨拶しても返ってこないことがある。

(滝沢市長)

それについては、私の挨拶が不十分だったということだと思うので、私から直していく。半年後などに、まだ十分でないようなら、また御指摘いただきたい。

(坂井(英)委員)

プロのミニバスケットチームの三条ビーターズのピーアールをしてほしい。それによりスポーツ全体の普及振興と知名度向上につながると思う。

(滝沢市長)

市内にいると気が付かない良さもあるので、積極的に発信していきたい。また、どのようなことが出来るか検討したい。

(五十嵐委員)

健康推進員が活動休止しているようだが、このままでよいのか。

(米持政策推進課長)

組織の見直しを一昨年行った。新型コロナウイルス感染症の影響で新体制が滞っている。今後、発信等含めて取り組んでいきたい。

(日下部副会長)

下田地区の音楽祭について幅広い層に受け入れられるものを希望し、スポーツと同様にピーアールしていけたらと思う。

(滝沢市長)

価値に気づいてないものを見直し、発信していきたいのでアイデアをいただきたい。

資料No.1 - 4 「地方創生関係交付金について」について説明 (政策推進課長)

資料No.1 - 4 「地方創生関係交付金について」に基づき説明のとおり、空間PRモデル活用事業の実施を見送ることとし、推進交付金実施計画の変更 (当該事業の削除及び KPI の変更) を申請することについて異議はなかった。

6 閉 会 (午後4時18分閉会)